令和４年　　９月　　第４５５号

浄恩寺同朋会報

電話　０５２－８８１－８４７４

真宗大谷派 浄恩寺

LINE　QR コード

「盂蘭盆会法要」お勤めしました。

今年も、コロナ禍に悩ませながらの法要を勤めました。3年ぶりに行動制限のない夏。自己責任の夏。昨年に比べ、多くの方々にご参拝いただきました。

今年は、医師、看護師、救命救急師、薬剤師、介護職員の方々おみえになり、現場の貴重な話もたくさん聞けました。

「感染者実態」「ワクチン」「治療薬」などなど。報道されてはいない事実、疑問を抱いてしまう政治対応もありました。

間違いのない事実は、感染は日常化し、まだまだ安心できない生活は続くということのようです。

法要参詣者数、法要依頼件数は、左記のようになりました。

①合同法要参拝者数　二七一名
②委託法要件数　一〇三件
③家族法要御依頼　八二件

合同法要参詣帰宅翌日、コロナ感染症状発症、翌日発熱後受診、結果、陽性報告が十六日にありました。その事実や参詣者の健康確認を行うために・・・浄恩寺LINE公式アカウントにご登録の方々には、一斉送信を行いました。未登録者には、個別のショートメイルや電話にて連絡致しました。

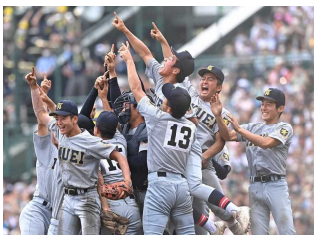
全員の健康確認がとれるまでとても心配致しましたが、誰一人お寺での感染者が出なかったことが不幸中の幸いでした。

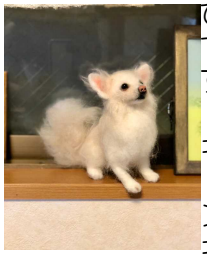
それ以外にも、陽性のため三家族の方々から、事前連絡を頂きました。感染防止対策にご協力いただき心よりお礼申し上げます。

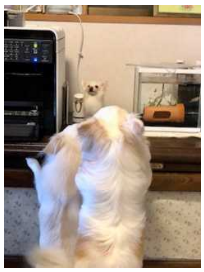
「心に沁みるメッセージ」

「入学どころか、おそらく中学の卒業式もちゃんとできなくて、（今の高校生の）高校生活っていうのは、僕たち大人が過ごしてきた高校生活とはまったく違うんですね。

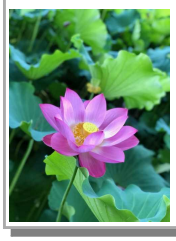
青春って、すごく密なので。でもそういうことは全部「ダメだダメだ」といわれて。活動はしていてもどこかでストップがかかって、どこかでいつも止まってしまうような苦しい中で、でも本当に諦めないでやってくれたこと。でもそれをさせてくれたのは僕たちだけじゃなくて、やっぱり全国の高校生のみんなが本当によくやってくれて。例えば今日の下関国際（下関国際高等学校）さんもそうですけど、大阪桐蔭（大阪桐蔭高等学校）さんとか、そういう目標になるチームがあったから、どんな時でも諦めないで、暗い中でも走っていけたので、本当に、すべての高校生の努力の賜物（たまもの）が、ただただ最後僕たちがここに立ったというだけなので。是非全国の高校生に拍手してもらえたらなと思います。」野球監督部　須江　航







フェルトアートで「たらちゃん」を作っていただきました。みんな大喜びです。キュンキュン大歓迎でした。

「浄恩寺報恩講法要厳修　十一月十三日（日）」

親鸞聖人のご命日に、お釈迦様や親鸞聖人の心に耳を傾ける法要です。詳細は検討中です。